

(一財)長崎県剣道連盟

広報誌 第13号

剣道だより (KENDO Nagasaki)



＜苗床に うす日さしつゝ 穀雨かな(西山泊雲)・・・穀雨(こくう)の候＞

今年の穀雨(こくう)は4月19日(日)です。4月4日(土)清明(せいめい)から数えて15日目頃で春季の最後の節気です。

春雨が百穀を潤すことから名づけられたもので、雨で潤った田畑は種まきの好期を迎えます。「清明になると雪が降らなくなり、穀雨になると霜が降りることもなくなる」という言葉があるように、南の地方ではトンボが飛び始め、冬服やストーブとも完全に別れる季節です。

変わりやすい春の天気もこの頃から安定し、日差しも強まってきます。昔から、この日を田植えの準備をする目安にしているようです。穀雨が終わる頃に八十八夜を迎えます。今年は5月1日(火)が八十八夜を迎えます。

この時期に降る雨は、百穀を潤し、芽を出させる春雨として「百穀春雨」といわれています。穀雨は、種まきなどを始めるのに適した時期なので、農作業の目安にされています。新型コロナウイルス感染拡大の中でも暦は粛々と進んでいきます。今年は新型コロナウイルス感染対策で全国に非常事態宣言が発令され、不要・不急の外出など自粛が呼びかけられています。長崎県内の県立高校が4月22日から再び臨時休校になりました。剣道の県内外の講習会、剣道大会、全剣連が主催する剣道大会や講習会なども中止となっています。このような時期こそ体幹などの身体づくりや稽古の基礎基本を大事にして、本来の剣道の楽しみ方で過ごすのも良いのかもしれない。



写真：つつじ(佐世保)

漢字の「躑躅(つつじ)は漢名。「躑躅」は「てきちよく」とも読み、この場合は足踏みすること、2、3歩行っては止まること、ためらうこと、という意味になります。つつじを見る人が美しさに足を止めることから、花の名が「躑躅」となったともいわれ、花の盛りのころの美しさを思えば納得してしまいます。

「新型コロナウイルス感染症の集団発生を防止するためのお願い」全日本剣道連盟4月5日(日)発令

新型コロナウイルス感染症は世界的に急増しており、わが国も例外ではありません。今後は急激な感染拡大や医療崩壊が起こる可能性があります。この病気は、感染者を中心に患者集団(クラスター)ができて、急激に感染が拡がるのがわかっています。したがって、剣道愛好家はみずからの感染防止とともに、クラスター発生防止が大事です。以下は、全日本剣道連盟からの「新型コロナウイルス感染症の集団発生を防止するためのお願い」です。必ず守っていただくようお願いいたします。ただし、事態はきわめて流動的であり、状況が変わり次第、このお願いが変更される可能性があります。よろしくご理解ください。

1. 当面、対人的な稽古は中止してください。すでに首相官邸、厚生労働省からは以下の3つの条件を避けることが示されています。

- 1) 換気の悪い密閉空間を避ける 2) 多数が集まる密集場所を避ける 3) 間近で会話や発声をする密接空間を避ける
これら3つの条件(3密)がそろると、クラスター(集団)発生リスクが非常に高くなります。残念ながら、剣道の対人的な稽古はこの3つの条件がすべて含まれています。実際、すでに一部の地域では剣道の稽古による感染クラスターが発生しているようです。したがって、感染の流行が収まってくるまでは、対人的な稽古は中止してください。

2. 室内や室外でのトレーニングには、以下のことを必ず守ってください。

- ・室内、室外にかかわらず、複数の人とトレーニングを行う場合には、相互に、前後左右、1.5～2メートルの距離を取ってください。
- ・室内では換気を積極的にすることが必要です。施設の扉・窓を開いたままにするとともに、送風機などの換気設備を利用して、積極的に外気を取り込んでください。
- ・屋外では換気は問題となりませんが、上記の対人的距離を必ず守ってください。また、集団でトレーニングをすると、周囲の人から嫌がられることがあります。5人以下の集団が望ましいでしょう。

3. こまめに手を洗いましょう。

- ・稽古の前と後にこまめに手を洗ってください。石鹸による手洗いが大事です。
- ・道場の入口などの前には消毒用アルコールを置き、トレーニングに入る前と後には必ず手指先から消毒してください。

4. 病気の疑いがある人はトレーニングをしてはいけません。

- ・発熱が37.5℃以上ある人や咳、痰、強いだるさ、息切れなどがある人または解熱剤を飲んでいる人などがそれに該当します。
- ・これ以外でも病気を疑う症状がある場合は止めてください。

5. もともと病気がある場合や高齢者(65歳以上)はトレーニングをしてもよいか、主治医と相談してください。

- ・上記の場合は、新型コロナウイルス感染症によりかかりやすく、重症化することがわかっています。

お知らせ・・・コロナウイルス感染による 大会及び審査会の中止について

<4月19日現在>

1.【剣道】全剣連対応			
1)	4月4日(日)~4月5日(日)	剣道中央(西日本)講習会(神戸市)	延期
2)	4月19日(日)	全日本選抜八段戦(愛知)	中止
3)	4月29日(日)	全国都道府県対抗剣道大会(大阪)	中止
4)	4月29日(水)~4月30日(木)	剣道中央審査会 六段・七段(京都)京都ハンナリーズアリーナ	9月に延期
5)	5月1日(金)~5月2日(土)	剣道中央審査会 八段(京都)京都ハンナリーズアリーナ	9月に延期
6)	5月2日(土)~5月5日(火)	全日本剣道演武大会(剣道)(京都武徳殿)	中止
7)	5月16日(土)	九州地区合同稽古会(福岡市)	中止
8)	5月23日(土)~5月24日(日)	女子審判講習会(勝浦武道研修センター)	中止
9)	6月11日(木)~6月14日(土)	第58回 全国中堅剣士講習会(奈良市中央体育館)	中止
10)	6月19日(金)~6月21日(月)	社会体育指導要講習会(滋賀県)	中止
11)	7月12日(日)	全日本都道府県対抗女子剣道大会(奈良市中央体育館)	中止
12)	7月24日(金)~7月29日(水)	令和2年度玉竜旗高校剣道大会(マリンメッセ福岡)	中止
13)	7月29日(水)~7月30日(木)	全国道場連盟少年剣道大会(大阪府おおきにアリーナ舞洲)	中止
14)	8月6日(木)	第62回 全国教職員剣道大会(岩手県石巻市)	中止
2.【剣道】長崎県関連及び九州剣連対応			
1)	4月5日(日)	剣道昇段審査会(長崎市・佐世保市)	中止
2)	4月11日(土)	剣道合同稽古会(長崎市)(長崎県立総合体育館 武道場)	中止
3)	4月12日(日)	佐世保市ライオンズ旗少年剣道大会 5月17日(日)に延期	延期
4)	4月12日(日)	伝達講習会(長崎市)(県立総合体育館 サブアリーナ)	延期 or 中止
5)	4月18日(土)	伝達講習会(佐世保市)(県立武道館)	延期 or 中止
6)	4月18日(土)	長崎県学校剣道連盟審判講習会及び総会(三菱重工体育館)	中止
7)	4月19日(日)	長崎県高等学校剣道選手権大会(三菱重工体育館)	中止
8)	4月25日(土)	九州・山口医科歯科剣道大会(県立総合体育館)	中止
9)	4月26日(日)	国体・西日本大会県予選会(諫早市)(長崎県立西陵高校体育館) 西日本大会中止	中止
10)	4月26日(日)	全日本道場連盟少年剣道大会県予選(森山スポーツ交流館)	中止
11)	5月9日(土)	全剣連後援剣道講習会(シーハットおおむら)	中止
12)	5月9日(土)	第62回 全国教職員大会長崎県予選会(大村高校剣道部武道場)	中止
13)	5月17日(日)	全日本剣道選手権大会県予選会(県立総合体育館武道場)	延期(検討中)
14)	5月23日(土)	ねんりん ピック大会県予選会(諫早市小野体育館)	中止
15)	5月30日(土)	合同稽古会(諫早市)(諫早市森山スポーツ交流館)	中止
16)	6月21日(日)	令和2年年度大村菖蒲まつり少年少女剣道大会(シーハットおおむら)	中止
3.【居合道】			
1)	4月5日(日)	長崎県居合道昇段審査会・春季講習会(長崎市立福田中学校)	中止
2)	5月2日(土)	全日本剣道演武大会(居合道)(京都武徳殿)	中止
3)	5月3日(日)	居合道八段審査会(京都市武道センター)	8月に延期
4)	5月16日(土)	令和2年度第1回 県居合道委員会(県立野球場会議室)	実施
5)	5月16日(土)	令和2年度第1回 県居合道理事会(県立野球場会議室)	中止
6)	5月17日(日)	長崎県段別居合道選手権大会(B&G 体育館 時津町)	中止
7)	7月3日(金)~5日(日)	居合道中央審査会(六段・七段)・西日本居合道地区講習会(沖縄県立武道館 那覇市)	中止
4.【杖道】			
1)	4月12日(日)	長崎県杖道春季講習会(諫早市長田文武館)	中止
2)	5月2日(土)	全日本剣道演武大会(杖道)(京都市武道センター)	中止
3)	5月3日(日)	杖道八段審査会(京都市武道センター)	8月に延期
4)	5月30日(土)~31日(日)	杖道中央講習会(勝浦武道研修センター)	延期

※「新型コロナウイルス感染による各種大会及び審査会の中止について」は当連盟ホームページにも掲載しております。

健康・予防(1) ……手洗い・うがい・マスクをしましょう。新型コロナウイルス感染予防

厚生労働省ホームページ参照

1. 国内の発生状況

<現在の状況と考え方>

新型コロナウイルス感染症については、これまで水際での対策を講じてきていますが、ここに来て国内の複数地域で、感染経路が明らかではない患者が散発的に発生しており、一部地域には小規模の患者クラスター(集団)が把握されている状態になっています。しかし、現時点では、まだ大規模な感染拡大が認められている地域があるわけではありません。

感染の流行を早期に終息させるためには、クラスター(集団)が次のクラスター(集団)を生み出すことを防止することが極めて重要であり、徹底した対策を講じていく必要があります。また、こうした感染拡大防止策により、患者の増加のスピードを可能な限り抑制することは、今後の国内での流行を抑える上で、重要な意味を持ちます。さらに、この時期は、今後、国内で患者数が大幅に増えた時に備え、重症者対策を中心とした医療提供体制などの必要な体制を整える準備期間にも当たります。

このような新型コロナウイルスをめぐる現在の状況を的確に把握し、国や地方自治体、医療関係者、事業者、そして国民の皆さまと一丸となって、新型コロナウイルス感染症対策を更に進めていく必要があります。

2. 水際対策

新型コロナウイルス感染症の病原体が外国からの航空機や船舶を介して国内へ侵入することを防止するとともに、航空機等に関して感染症の予防に必要な措置を講じることを目的として、新型コロナウイルス感染症を「検疫法第34条の感染症の種類」として指定しています。これにより、外国から日本へ入国しようとする方に対する質問・診察の実施、患者等の隔離・停留のほか、航空機等に対する消毒等の措置を講じることが可能となっています。

諸外国においてこの感染症が流行していることを受けて、日本の水際対策として、一部の国からの到着便・到着船について、全員質問票による聞き取り、ポスター掲示による自己申告の呼びかけ、健康カード配布による国内二次感染等のリスクの軽減等を行っています。また、当面の間、14日以内に一部の国の一部地域における滞在歴がある外国人等については、出入国管理及び難民認定法に基づき、特段の事情がない限り、症状の有無にかかわらず、その入国を拒否しています。

3. 予防対策

<手洗い・うがい・マスク着用>

風邪や季節性インフルエンザ対策と同様にお一人お一人の咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。感染症対策に努めていただくようお願いいたします。

風邪症状があれば、外出を控えていただき、やむを得ず、外出される場合にはマスクを着用していただくよう、お願いします。

集団感染の共通点は、特に、「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」、「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」です。換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避けてください。

次の症状がある方は「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。

- ・風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている。(解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます)
- ・強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある。

※高齢者や基礎疾患等のある方、妊婦の方は、上の状態が2日程度続く場合

うがいをしよう



遺稿(2)・・・「懸け声」

剣道範士八段 錦戸 眞先生(故人 元長崎県剣道連盟副会長・理事長)

※「剣報長崎」平成17年(2005年)9月 第18号 より

私たちは、稽古の時、または試合の時「懸け声」を発していますが、何故、懸け声を発するのでしょうか。懸け声にはどのような種類があるのでしょうか。また、どのような時に発するのでしょうか。

剣道を修業する者にとって、懸け声は大変重要なものですが、高野佐三郎先生は著書「剣道」において次のように説明しています。

懸け声は、我が勇気を増し、打ち込む太刀の勢いを加え、敵を威嚇し、その挙動を制することができる。

これによって、よく精神を緊張させて、心身の勢力を集中し得るものである。されば、力を必要とする仕事には全て懸け声を用いる。

懸け声には自然にできるものであるけれども、場合によっては動作と同一のものばかりではない。

進む声があり、退く声があり、打つ声があり、留める声がある。昔から多く用いられたものは、「イヤー」「エーイ」「トー」の三種である。「イヤー」は我が体勢が完備した時を示し、又は出会い頭に勢いをくじき、声で先を得るなど強い感動を与えるのによしい。「イヤー」と呼んで敵が「イヤー」と答えるのは同様の意味であります。不意に発声がなく打つのを古来、武士はこれを忌んだ。

「エーイ」は堅確なる決意で動作するとき用いる。

「トー」は留める音であり、受け止め、切り落とすときに用いる。

要するに、心身の全力を尽くし、死生を賭けて戦う時に発するものであるから、最も自然で動作に適応する力はある懸け声でなければなりません。いたずらに作為をし、又は無用の多言を弄ぶようなことはさげなければいけない。

好機にたくみに用いれば、懸け声もまた一種の武器である。

剣道における三つの懸け声について斎村五郎先生は、著書「刀と剣道」の質疑応答の中で次のように答えています。

【問】「剣道の三つの声」について

【答】昔から多く用いられたのは、「イヤー」「エーイ」「トー」の三つの声です。

——「中略」——

勝を知らず声を言って、勝って後、大きく声を懸ければ、敵はこの声に其のまま畏縮して続いて声出せないものです。

次に敵を追い込んだ時など大きな声を懸けると、最早逃れる所と思い、苦しい所から無理な動作に出てくるものです。これを受け又は外して勝ちを得るものです。

次に敵から追い込まれたときなど、敵の撃たん、突かんとする気色の見ゆれば、直ちに大きく声を懸ける時は、その為さんとする術を看破されたものと疑うのです。其の疑ったところを速やかに、こちらから撃ち又は突いて勝を制するものです。これを剣道の三つの声と言います。



剣道範士八段 錦戸 眞先生
故人 元長崎県剣道連盟副会長・理事長



写真：春の花 藤(佐世保市にて撮影)



絵：家紋(下り藤)



剣道範士 高野佐三郎



剣道形を演武する高野佐三郎と中山博道



剣道範士 斎村五郎